

十勝の金融経済概況

1. 全体感

十勝の景気は、持ち直している。

すなわち、公共投資は、弱めの動きとなっている。設備投資は、横ばい圏内で推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、全体としては持ち直している。生産は、減少している。労働需給は、引き締まっている。

先行きについては、原材料コストの動向や企業の賃金・価格設定行動が、管内の経済活動全般に及ぼす影響を注視していく。

2. 最終需要の動向

公共投資は、弱めの動きとなっている。

公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、横ばい圏内で推移している。

主要企業の9月短観における2023年度設備投資計画は、前年を下回っている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

新設住宅着工戸数は、持家は前年を上回ったほか、貸家も前年を上回り、全体でも前年を上回った。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、全体としては持ち直している。

主要小売店売上高は、前年を上回った。

耐久消費財をみると、乗用車新車登録台数（含む軽）は、軽乗用車は前年を下回ったものの、普通・小型乗用車は前年を上回り、全体では前年を上回った。家電販売は、緩やかに持ち直している。

旅行・観光関連をみると、市内ホテルの宿泊人数、主要温泉地の宿泊人数は、持ち直している。とかち帯広空港の乗降客数は、持ち直している。

3. 生産・雇用・企業倒産の動向

生産は、減少している。

生乳・乳製品の生産量は、ともに前年を下回った。

農作物の生育状況をみると、概ね順調に推移している。

製材生産量は、前年を下回った。

労働需給は、引き締まっている。

有効求人倍率（常用）は、前年を下回った。

企業倒産は、総じて低水準で推移している。

企業倒産（負債額 10 百万円以上）は、倒産件数、負債総額ともに前年を上回った。

4. 金融情勢

預金残高は、前年を上回った。

貸出残高は、前年を上回った。

貸出約定平均金利は、既往ボトム圏の水準で推移している。

以 上